国際医療福祉大学

5キャンパス 11学部27学科

大田原キャンパス

〒324-8501
栃木県大田原市北金丸 2600-1

入試事務室
TEL. 0287-24-3200　FAX. 0287-24-3199

URL https://otawara.iuhw.ac.jp/
E-mail nyushi@iuhw.ac.jp

26万㎡（東京ドーム約5.5個分）の広大な敷地に、学修・研究のための16棟の校舎とさまざまな設備を整備しています。キャンパス内に6つの医療福祉施設を併設しているのが、大田原キャンパスの大きな特長です。高齢者や障害を持つ方々と日常的に触れ合える教育・医療・福祉が一体となった理想的な教育環境のもと、医療福祉従事者にふさわしい人間性が形成されます。



保健医療学部
- 看護学科
- 理学療法学科
- 作業療法学科
- 言語聴覚学科
- 視機能療法学科
- 医学検査学科
- 放射線・情報科学科

医療福祉学部
- 医療福祉・マネジメント学科
  - ［福祉系］ 医療福祉コース
  - ［マネジメント系］ 経営情報コース

薬学部
- 薬学科（6年制）

成田キャンパス
千葉県成田市公津の杜4-3
TEL. 0476-20-7810

医学部
- 医学科

成田看護学部
- 看護学科

成田薬学部
- 薬学科（6年制）

成田保健医療学部
- 理学療法学科
- 作業療法学科
- 言語聴覚学科
- 医学検査学科
- 放射線・情報科学科

小田原キャンパス
神奈川県小田原市城山1-2-25（本校舎）
TEL. 0465-21-0361

小田原保健医療学部
- 看護学科
- 理学療法学科
- 作業療法学科

大川キャンパス
福岡県大川市榎津137-1
TEL. 0944-89-2000

福岡保健医療学部
- 看護学科
- 理学療法学科
- 作業療法学科
- 医学検査学科

福岡薬学部
- 薬学科（6年制）

東京赤坂キャンパス
東京都港区赤坂4-1-26
TEL. 03-5574-3903

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部
- 心理学科
- 医療マネジメント学科

医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。
国際医療福祉大学
https://www.iuhw.ac.jp/

※国際医療福祉大学については「国際医療福祉大学GUIDEBOOK2027」を、大田原キャンパスについては「大田原キャンパスGUIDEBOOK2027」をご覧ください。

26076000

医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。
国際医療福祉大学
大田原キャンパス

ST
Speech-Language Hearing Therapist

言語聴覚学科



国家資格 言語聴覚士

言語聴覚士はコミュニケーションをサポートし、その人らしい生活ができるよう支援します。

あなたは、今、
どんな未来を描いていますか？

「人と接することが楽しい」「子どもが好き」「誰かの役に立つ仕事がしたい」

そんな優しい想いがあなたに芽生えているなら、ぜひ医療の扉を開いてください。
勇気を出して一歩踏み出したその向こうには、「ことば」や「聞こえ」など
コミュニケーションに障害を抱える人たちがたくさんいます。

言語聴覚の世界は、今、あなたの力を求めています。



言語聴覚士は
コミュニケーションを
サポートする国家資格です。

子どもから高齢者まで多くの方が、
言語聴覚士のサポートを必要としています。

「ことば」や「聞こえ」のようなコミュニケーションに問題が生じると、
意思を伝える、自分の心を表現する、新しいことを学習するなどのすべてが不自由になります。
コミュニケーションは社会的生活の基本であり、人間にとって決して欠くことのできない要素です。
言語聴覚士には、その人が持つことばの問題を理解するだけでなく、
その人がどのような生活や人生を築きたいと願っているのかを理解し、共感する力が求められます。
言語聴覚士は「飲み込み」の問題にも関わります。
飲み込む動作を嚥下（えんげ）といい、嚥下障害によって食べ物などが誤って気管や肺に入ることを誤嚥（ごえん）といいます。
高齢者の肺炎の多くがこの誤嚥に関係していると言われています。
進行する高齢社会において、言語聴覚士の担う役割はますます重要になっています。



言語聴覚士は不足しています。

「コミュニケーションの専門職」として言語聴覚士の需要は今後さらに拡大するものと思われます。

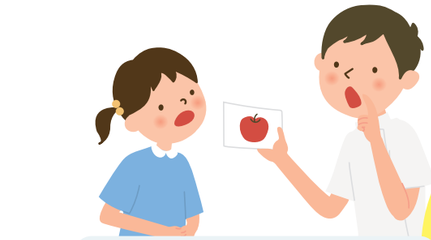
有資格者数（2026年4月現在）

言語聴覚士
44,817 人

言語聴覚療法を必要とする人
6,500,000人以上（推定）

ニーズが高まるリハビリテーション職

言語聴覚士は、高齢社会の進展に伴い、病院、福祉施設、リハビリテーションセンター、高齢者施設などの医療福祉分野でのニーズが拡大しており、慢性的に不足しています。さらに、新生児聴覚スクリーニングの普及によって早期発見された難聴児とその保護者を支援するために、言語聴覚士が必要です。また、特別支援学校や聞こえとことばの教室、療育施設など、子どもを対象に、教育・福祉現場でも言語聴覚士の専門性が求められているため、活躍の場は拡大し続けています。



ことばの遅れや発達障害のある子ども

脳卒中などによって失語症になった方

ことば

失語症のある方に対しては、ことばを思い出す訓練や相手のことばを聞き取る訓練を、ことばの遅れのある子どもに対しては、発達の段階に合わせ、ことばを育む訓練を行います。

発音が不明瞭・声が出しにくい方



飲み込み

安全においしく食べるための機能回復を行います。医師や歯科医師とともに飲み込みの検査やリハビリテーションを実施します。



食事がうまくとれない高齢者の方

がんなどによって舌や喉頭を切除した方



言語聴覚士

Speech-Language-Hearing Therapist

医療現場では「ST」と呼ばれます。

発音・声

発音や発声の回復をめざし、必要な機能の活性化を図る訓練を行います。発語器官の運動訓練や呼吸筋の訓練などを行うこともあります。

聞こえ

声や音が聞き取りにくい方の聴力を確認したうえで、聞き取りの訓練を行います。補聴器の調整や扱い方も教えます。



聴覚障害を抱える方

認知

記憶力や注意力などの認知機能（高次脳機能）を改善するための訓練を行い、生活しやすくするためのアドバイスを行います。



認知や記憶に困難のある方

言語聴覚士の魅力と本学の学びの特長

言語聴覚士の仕事とは？



話す、聞く、表現する、食べる･･･。
誰でもごく自然に行っていることが、病気や事故、加齢などで
不自由になることがあります。また、生まれつきの障害で困っている方もいます。
こうした、ことばによるコミュニケーションや嚥下に問題がある方々の
社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援するのが言語聴覚士の仕事です。

言語聴覚士の活躍と未来

言語聴覚士は1997年に国家資格化された比較的新しい専門職で、活躍の場は高齢社会の進展に伴い、病院や保健・福祉施設のほか、子どもを対象とした教育・福祉現場にも拡大しています。野村総合研究所とオックスフォード大学の調査では、「AI（人工知能）やロボットではできない仕事・20年後に残る仕事」として精神科医と並んで1位となり、将来性が高い仕事といえます。

医療チームの一員として活動

医師・歯科医師・看護師・理学療法士・作業療法士など医療専門職、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・介護援助専門員などの保健・福祉専門職、教育、心理専門職などと連携し、言語聴覚士もチームの一員として活動します。

ライフステージの変化にあわせて働きやすい

言語聴覚士の職場環境は夜勤がなく、就業時間が規則的であることや産前・産後休暇・育児休暇の活用、託児所を併設している施設も多い点などから、結婚後も長く仕事が続けられるのも魅力のひとつです。言語聴覚士は国家資格であるため、一時的に職を離れる時期があっても再就職は比較的容易であり、これまでの経験を次のステージに生かせるのも特長です。

必要な資質

言語聴覚療法の対象は、高齢者や乳幼児、事故や病気の後遺症で悩む方々などさまざまであり、思い通りにことばを発してコミュニケーションが難しく、もどかしい気持ちでいる場合がほとんどです。患者さんと信頼関係を築くためには、知識や技術はもちろんのこと、観察力や想像力、患者さんに的確に伝えるための表現力、患者さんの思いを受け止めることのできる豊かな人間性が大切になります。

言語聴覚士に向いている人

人と接することが好きな人



相手の言うことにじっくり耳を傾けられる聞き上手な方、人と接することが好きな方は長所が生かせる仕事です。

子どもが好きな人



ことばの発達やそのお子さん自身の成長を近くで支援することができます。子どもに関わる仕事に興味のある方はやりがいが感じられる仕事です。

コツコツと何かをするのが好きな人



言語聴覚士になるためには幅広い分野の勉強をコツコツとやり遂げる粘り強さが求められます。さらに、患者さんに向き合い、長期間にわたる訓練を続ける根気強さが必要な仕事です。

資格を生かし、人を支える仕事がしたい人



言語聴覚士は子どもから高齢者まで幅広い年代の患者さんを対象にリハビリテーションで生活を支援する、たいへんやりがいのある仕事です。働きやすい環境であり、国家資格として安定性も抜群です。

人間力のあるコミュニケーションの
専門家として幅広い領域のスキルにたけた言語聴覚士を育成。



大田原キャンパス
言語聴覚学科長
小森 規代教授

国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科卒業。
国際医療福祉大学大学院言語聴覚分野修了（修士）。
国際医療福祉大学大学院言語聴覚分野修了（博士）。
日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士（失語・高次脳機能障害領域）
講習会副委員長・生涯学習部・学術研究部、
日本難病リハビリテーション研究会幹事、日本神経心理学会評議員。

私たちが気持ちを伝え、人とつながって生きていくために、「ことば」や「聞こえ」はとても大切です。また、「食べる・飲む」ことは命を支えるだけでなく、生きる喜びそのものでもあります。言語聴覚士は、こうした分野に困りごとを抱える人を支える専門職です。対象は赤ちゃんから高齢者まで幅広く、文系・理系を問わず目指すことができます。大田原キャンパスには、隣接する言語聴覚センターでの実習や、専門性を高めるための充実したカリキュラムが整っています。さらに、ボランティア活動や学内行事を通して、人間力や思考力、臨床力を育むことができます。仲間と学び合いながら成長できる環境があり、卒業後も学び続け、生涯にわたって専門職として活躍できる力を身につけることができます。人と関わることが好きで、誰かの役に立つ仕事をしたいと考える皆さんをお待ちしています。

充実した学びのサポートで
言語聴覚士を目指す学生を支援。

アドバイザー制度

入学時から卒業時までの4年間、アドバイザー教員が学習面から生活面まで大学生活の相談や支援を行います。アドバイザー教員ごとに小グループを形成し、定期的な面談や国家試験対策などきめ細やかに指導します。



国家試験サポート

大田原キャンパス言語聴覚学科の国家試験合格者数は、開学以来全国1位です。この秘訣は、低学年から始まる国家試験対策模試や4年次の国家試験対策講義、アドバイザーグループによる学び合いなど、本学独自の国家試験対策にあります。豊富な経験をもつ教員たちが国家試験の問題傾向を分析し作成したオリジナル模試や国家試験対策講義が段階的に設定され、実力をつけていきます。

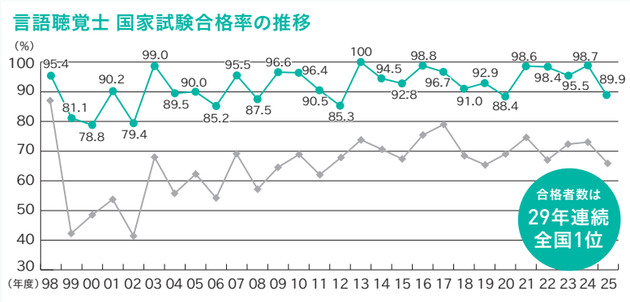


1998年から29年連続で全国1位。
全国トップクラスの国家試験合格者数

本学では国家試験全員合格をめざして、これまで蓄積されてきた指導ノウハウを用いた国家試験対策を早期から展開し、合格へ導く体制を整えています。豊富なデータから出題傾向を分析し、模擬試験を年に複数回実施しています。その結果、29年連続で合格者数全国1位を達成しています。

2025年度合格者数	合格率
全国1位	89.9%
合格者62名	全国合格率 66.4%

言語聴覚士 国家試験合格率の推移



充実の実習環境と実務経験豊富な教員

恵まれた実習環境を生かし、臨床経験豊かな教員が直接臨床実習の指導を行います。

アジア有数の言語聴覚センターを併設
他大学に類をみない最先端の実習環境を整備

大田原キャンパスには、最先端の演習設備があり、学生は充実した評価検査機器を日常的に使用できます。特に、キャンパス内にアジア有数の設備が整えられた言語聴覚センターがあり、実習施設として頻繁に利用されています。教員から直接指導を受けながらさまざまな障害に対応した実習を行うことができ、学んだ知識を実践する機会が多くあるので、実際の現場で役立つ、十分な経験を積むことができます。このほか6つの附属病院をはじめ、臨床医学研究センターという位置づけの関連病院・施設を各地に保有しており、これらの施設で最新のスキルを修得できます。

国際医療福祉大学クリニック

言語聴覚センター（大田原キャンパス内）

言語聴覚センターは、言語聴覚障害の治療やリハビリテーションを専門的に行う、アジアでも有数の専門施設です。幅広い言語聴覚障害に専門的に対応する当センターは、小さなお子さんから高齢者の方まで、近隣地域の方に頼られるだけでなく、遠方からも専門的な治療を求めて来られる患者様が多くいらっしゃいます。特に、こどもの言葉の相談、吃音や声の相談、聞こえの相談、飲み込みの相談などに対応する専門外来を設け、専門性を磨いた言語聴覚士が、耳鼻咽喉科や小児神経科の医師と協働して対応しています。学生は1年次から4年次まで臨床実習施設として当センターを利用し、臨床の最前線を間近で感じながら学修を進めることができます。言語聴覚学科教員は当センターで臨床に従事しており、講義と実習を車の両輪と考え、臨床に即した教育を行います。



STセンター（施設概説）



耳鼻咽喉科診察室
言語聴覚士は医師の診察に同席し、指導・訓練方針を話し合います。学生は見学実習を行います。



グループセラピー室
個別だけでなく、集団での指導・訓練を通して、より実践的なコミュニケーション能力を高めます。



観察室（成人用／小児用）
マジックミラーから訓練室内の指導・訓練の様子を見学し、言語聴覚士の臨床技術や対応を学びます。



聴覚検査室・防音室
赤ちゃんから高齢者まで聴力検査ができるよう、防音室と各種聴力検査機器が整備されています。

附属病院や臨床医学研究センターが実習を強力にバックアップ

専門スキルを身につけるうえで特に重要なのは「臨床実習」の環境です。
附属病院のほか臨床医学研究センターという位置づけの関連施設を多く持つ本学では、充実した臨床実習を行っています。

附属病院（一部抜粋）



国際医療福祉大学
那須医療センター
（栃木県那須塩原市）



国際医療福祉大学塩谷病院
（栃木県矢板市）



国際医療福祉大学成田病院
（千葉県成田市）



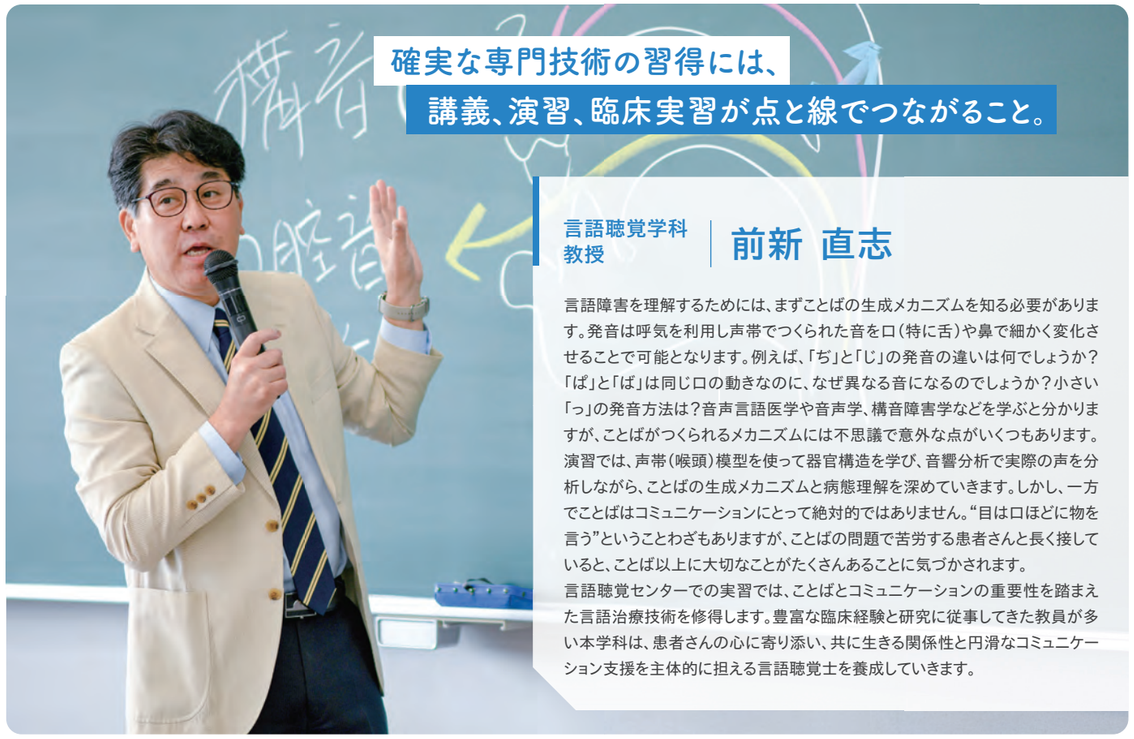
国際医療福祉大学
市川メディカルセンター
（千葉県市川市）



国際医療福祉大学三田病院
（東京都港区）



国際医療福祉大学熱海病院
（静岡県熱海市）



確実な専門技術の習得には、
講義、演習、臨床実習が点と線でつながること。

言語聴覚学科
教授
前新 直志

言語障害を理解するためには、まずことばの生成メカニズムを知る必要があります。発音は呼気を利用し声帯でつくられた音を口（特に舌）や鼻で細かく変化させることで可能となります。例えば、「ぢ」と「じ」の発音の違いは何でしょうか？「ぱ」と「ば」は同じ口の動きなのに、なぜ異なる音になるのでしょうか？小さい「っ」の発音方法は？音声言語医学や音声学、構音障害学などを学ぶと分かりますが、ことばがつくられるメカニズムには不思議で意外な点がいくつもあります。
演習では、声帯（喉頭）模型を使って器官構造を学び、音響分析で実際の声を分析しながら、ことばの生成メカニズムと病態理解を深めていきます。しかし、一方でことばはコミュニケーションにとって絶対的ではありません。“目は口ほどに物を言う”ということわざもありますが、ことばの問題で苦労する患者さんと長く接していると、ことば以上に大切なことがたくさんあることに気づかされます。
言語聴覚センターでの実習では、ことばとコミュニケーションの重要性を踏まえた言語治療技術を修得します。豊富な臨床経験と研究に従事してきた教員が多い本学科は、患者さんの心に寄り添い、共に生きる関係性と円滑なコミュニケーション支援を主体的に担える言語聴覚士を養成していきます。



自ら考える高い思考力を有した
言語聴覚士の育成をめざします。

言語聴覚学科
准教授
平田 文

保健医療学部 言語聴覚学科卒（1期生）

言語聴覚士は、「話す」「聞く」「育む」「食べる」の専門家です。私が担当している講義「摂食嚥下障害学Ⅰ Ⅱ」は、食べる機能の障害に対するリハビリテーションを学びます。講義では、患者様の嚥下造影検査（食べ物を飲み込む様子をレントゲンで撮影する検査）や嚥下内視鏡検査（食事中の喉を内視鏡で観察する検査）の画像を元に嚥下障害メカニズムについて学ぶ講義や、実際の食べ物やトロミ調整飲料を用いて嚥下リハビリの手技を学ぶアクティブ講義を行います。また、摂食嚥下リハビリテーションにはチームアプローチが欠かせないため、本学の特色である「関連職種連携教育」で臨床実践力を養います。

言語聴覚士をめざす学生

※学生の学年は2025年時点のものです。



生きる喜びを支える役割を果たしたい

杉田 涼介さん（2年）

神奈川県立大和西高等学校 出身

2年次からは専門的な授業が増え、小児の言語・運動発達や障害の特徴に加え、成人の失語症の症例や鑑別のための検査方法を学んでいます。脳画像から病巣や症例を考える学習や、検査の実施方法を確認して練習する機会も多く、実践力が高まっていると感じます。なかでも「摂食・嚥下障害学」の授業では、人生の大きな楽しみの一つである「食べる」ための機能訓練を行う言語聴覚士の役割を改めて考えるきっかけにもなりました。国際医療福祉大学は、他学科とのつながりが多く、多職種への理解も深められます。また、ボランティア活動を通して地域の方々と関われるので、さまざまな経験を積んで将来に役立つ力を培いたいです。

言語聴覚士は、人と向き合いその人らしさを引き出す職業

柏木 萌花さん（4年）

栃木県立大田原女子高等学校 出身

大学での4年間は、知識と臨床を結びつけて考えることに力を入れました。病名が同じでも患者さんの症状はさまざまで、教科書通りにいかないことも。先生や仲間に相談しながら理解を深めていきました。入学当初は、ことばや飲み込みを訓練する専門職という印象だった言語聴覚士ですが、今では生活背景や気持ちに寄り添いながら、その人らしさを引き出す職業と考えるように。技術力だけでなく、人と向き合う姿勢が大切だと感じています。将来は、回復期病院で失語症・高次脳機能障害へのリハビリテーションを広く深く究めたいです。そのためにも、多職種と連携しながら成長できる環境で実践を重ね、信頼される存在をめざします。

言語聴覚士として活躍する卒業生



機能改善の訓練やサポートを通して、患者様の社会復帰に貢献できるよろこび

岩間 舞花さん

国際医療福祉大学塩谷病院
リハビリテーション室　勤務（2024年度卒）

ドラマで神経難病を知ったことがきっかけで、食べる・話すといった人の生活を支える言語聴覚士という職種を知り目指しました。現在、急性期病棟に勤務し、摂食嚥下障害、高次脳機能障害、顔面神経麻痺等のリハビリに関わっています。患者様ができなかったことが訓練によってできるようになり、喜ぶ姿を見た時にとてもやりがいを感じます。
患者様と信頼関係を築くためにコミュニケーションを大切にしています。その基盤となっているのが、大学で学んだ言語聴覚障害に関する専門知識です。さらに、心理学や一般教養科目で培った幅広い視点も、患者様一人ひとりを理解し支援する上で役立っています。

4年間の学び

1年次

言語聴覚療法の基礎を幅広く学ぶ。

言語聴覚士の役割・職務、言語聴覚障害の種類と症状について基礎的な知識を学修。人体の構造と機能や疾病を理解します。また、本学関連施設で、子どもや高齢者とのコミュニケーション技能を修得します。

2年次

「ことば」と「聞こえ」、「飲み込み」の問題の発生メカニズムに迫る。

「ことば」と「聞こえ」、「飲み込み」の障害について総合的に学ぶ1年間。また、対象者を正確に評価・診断するための知識と技法を修得します。教員の臨床を見学しながら、臨床家としての第一歩を踏み出します。

3年次

評価・訓練・指導法を体系的に学修。実践で使える技能に発展させる。

各種障害（失語症、高次脳機能障害、音声障害、構音障害、聴覚障害、言語発達障害、摂食・嚥下障害）を専門的に学び、評価・訓練・指導法を体系的に学修。評価実習で、知識から実際に使える技能へと結びつけます。

4年次

附属施設や全国の病院で最先端の臨床技術を修得。

言語聴覚センターをはじめとする本学の附属・関連施設や全国の医療機関で、総合実習を実施し、総合的な臨床力を養います。卒業前には、最新の知識や臨床技術を学んだうえで、社会へと巣立ちます。





言語聴覚士として活躍する卒業生

大学での学びを生かして専門分野で活躍する卒業生に、
現在の仕事内容ややりがいについて話してもらいました。

佐鳥 春奈さん

国際医療福祉大学病院
リハビリテーション室 勤務（2017年度卒）



病院では多職種が連携して、患者様が家庭・社会復帰できるように取り組んでいます。その中で私は言語聴覚士として、コミュニケーション障害や摂食嚥下障害を持つ患者様を担当しています。病院での言語聴覚士の仕事は、人の生活に欠かせない「話す、聞く、食べる」ことに問題を抱えた方々のお手伝いをします。具体的には言語機能が低下し言葉が出にくくなった患者様には、その症状が生じる原因を調べ、言葉の訓練を行います。今まで食べていた食事が嚥下障害により食べられなくなってしまった患者様には、安全に食事が摂れるような飲み込み方を訓練し、むせずに食べられるようにします。人によって生じる障害は異なっているため、それぞれの患者様をよく見て、一番適した訓練方法を行うよう心掛けています。

鈴木 菜月さん

国際医療福祉リハビリテーションセンター
リハビリテーション課 勤務（2020年度卒）



小児のリハビリテーションを行う施設で勤務しています。発達障害のお子さんの言葉やコミュニケーションの評価・指導を中心に、重症心身障害児者のコミュニケーション、飲み込みの評価などに携わっています。患者様の得意・不得意を把握して個々に合わせたリハビリテーションを実施し、評価や指導は医師や他職種と連携して行っています。臨床を通して、言葉の発達を実感できた時やコミュニケーションが成立した際には、お子さんとともに自分も成長できた気持ちになります。ご家族をサポートしていく中で困り感が軽減し、お子さんとの接し方に変化があったときの喜びなど、ご家族と感情を共有できる言語聴覚士は素晴らしい職業だと実感しています。

中山 陽介さん

山王メディカルセンター
国際医療福祉大学東京ボイスセンター 勤務（2016年度卒）



ボイスセンターは「声」と「のど」を専門に外科治療やリハビリ治療を行う施設です。日本でも有数の、声を専門とする医師と連携して治療を行っています。具体的には「声が出ない」「かすれ声で話すことに苦痛を感じる」など、声を出すことに困難を感じる方や声をお仕事とする方へ高度な音声・言語リハビリテーションを提供しています。
声はコミュニケーションを行う上で大きな役割を果たし、その方の仕事や人生にも影響を与えるものです。そんな声に対する悩みを聞き、一緒に解決に向かって頑張る過程や、その方の悩みを解決できたときにやりがいを感じます。患者様と向き合う中で、医学的な知識だけでなく、臨床実習で培ったコミュニケーション能力が生かされていると感じています。

それぞれの患者様に適したサポートで支えたい



患者様のご家族に寄り添い支援したい



患者様に寄り添い悩みを解決したい



一人ひとりの適性に合わせたサポートで、学生全員を医療福祉の世界へ送り出しています

医療福祉系大学のなかでも 圧倒的な求人件数と、高い就職率

本学卒業生の実績や評判によって、全国から数多くの求人が寄せられており、その数は約1,600件にものぼります。さらに言語聴覚学科教員の強力なバックアップ体制とキャリア支援センターのきめ細かなサポートによって、全員が希望通りの就職先を選択することができます。

言語聴覚学科 求人件数
（2026年3月31日現在）
※全キャンパスの求人件数

1,470件

言語聴覚学科
卒業生就職率
（2025年度卒業生）

100%

活躍のフィールド

ここに注目！

言語聴覚士は医療機関だけでなく、保健・福祉機関、教育機関など幅広い領域で活躍しており、ことばや聞こえに問題をもつ方とご家族を支援しています。

医療施設
大学病院、総合病院、専門病院、リハビリテーションセンター、地域医院、診療所など

保健施設
介護老人保健施設、デイケアセンター、訪問看護事業所、訪問リハビリテーション事業所など

福祉施設
特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設など

教育機関
小中学校、特別支援学校、研究施設、言語聴覚士教育施設（大学、短大、専門学校）など

学生の未来を手厚くサポート キャリア支援センター

キャリアコンサルタントが学生の強み「乗り越える力」を引き出し、
在学中はもちろん卒業後も継続してさまざまなキャリア支援を行います。



就職実績（2026年3月卒業生実績）

●**本学グループ施設** 〔栃木県〕国際医療福祉大学言語聴覚センター／国際医療福祉大学那須医療センター／国際医療福祉大学塩谷病院

●**グループ以外** 〔宮城県〕気仙沼市立病院 〔福島県〕会津中央病院／かしま病院／総合南東北病院／福島整肢療護園 〔茨城県〕筑波メディカルセンター病院／筑波記念病院／志村大宮病院／龍ケ崎済生会病院 〔栃木県〕うつのみや病院／宇都宮記念病院／栃木医療センター／栃木県医師会塩原温泉病院／那須北病院／リハビリテーション花の舎病院 〔群馬県〕堀江病院 〔埼玉県〕川口市立医療センター／埼玉みさと総合リハビリテーション病院／三愛会総合病院／東埼玉病院／いろは児童発達支援事業所 〔千葉県〕千葉中央メディカルセンター／船橋市立リハビリテーション病院 〔東京都〕医療法人社団KNI 北原グループ／北原国際病院／JR東京総合病院／総合東京病院／タムス杉並病院／東京逓信病院／練馬光が丘病院／村山医療センター 〔神奈川県〕麻生リハビリ総合病院／藤沢市民病院 〔長野県〕相澤病院／鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院 〔山梨県〕甲州リハビリテーション病院 〔広島県〕大田記念病院

